

株式会社ウェブレッジ

貸借対照表

2024年5月31日 現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	266,595	流動負債	397,386
現金及び預金	155,829	買掛金	18,712
売掛金	83,067	短期借入金	200,000
仕掛品	3,675	リース債務	930
前払費用	20,213	未払金	11,996
未収入金	342	未払費用	80,215
その他	3,981	未払法人税等	4,634
貸倒引当金	△ 514	未払消費税等	59,950
		前受金	11,516
		預り金	9,431
固定資産	1,615,952	固定負債	159
有形固定資産	17,432	長期リース債務	159
建物附属設備	5,677		
構築物	362		
機械及び装置	2,128		
車両運搬具	1,075		
工具、器具及び備品	15,732		
リース資産	1,583		
減価償却累計額	△ 9,127		
		負債合計	
		純資産の部	
無形固定資産	1,589,498	株主資本	1,485,001
のれん	1,579,748	資本金	20,000
ソフトウェア	9,750	資本剰余金合計	1,866,000
		その他資本剰余金	1,866,000
投資その他の資産	9,021	利益剰余金合計	△ 400,998
長期前払費用	1,620	繰越利益剰余金	△ 400,998
敷金及び保証金	7,400		
		純資産合計	1,485,001
資産合計	1,882,547	負債及び純資産合計	1,882,547

(注1)：千円未満は切捨てにより作成しています。

(注2)：当期純損失 (△) △346,085 千円

個別注記表

自 2023年6月1日
至 2024年5月31日

I 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・・・建物については定額法、その他の有形資産については、定率法を採用しています。

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物附属設備	8～18年
構築物	20年
機械及び装置	17年
車両運搬具	3～4年
工具器具備品	2～10年

(2) 無形固定資産

・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

自社利用ソフトウェア	5年
のれん	10年

(3) リース資産

・・・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

2. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

3. 収益及び費用の計上基準

当社が計上している収益は、主にシステムの品質向上を支援する検証サービスであり、顧客との業務請負契約または準委任契約に基づいてサービスを提供することで履行義務が充足されると判断しています。業務請負契約は、当該サービスの検収時点で履行義務が充足されると判断し、検収時点で収益を認識しております。準委任契約は契約期間で一定の役務の提供をするため、期間の経過に応じて履行義務が充足されると判断し、期間終了時点で収益を認識しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理・・・税抜方式

II 株主資本等変動計算書に関する注記

1 発行済株式の数に関する事項

株式の種類	普通株式
発行済株式数	37,720株

III 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。